

# 平成22年(2010年)12月期 決算説明会



コスモ・バイオ株式会社

2011.2.17

[www.cosmobio.co.jp](http://www.cosmobio.co.jp)

**JASDAQ**  
Listed Company 3386

## 目次



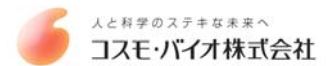
人と科学のステキな未来へ  
コスモ・バイオ株式会社

1. 会社概要と事業の内容
2. 2010年12月期 決算の概要
3. 2011年12月期 事業計画

# 1. 会社概要と事業の内容

[www.cosmobio.co.jp](http://www.cosmobio.co.jp)

## 会社概要

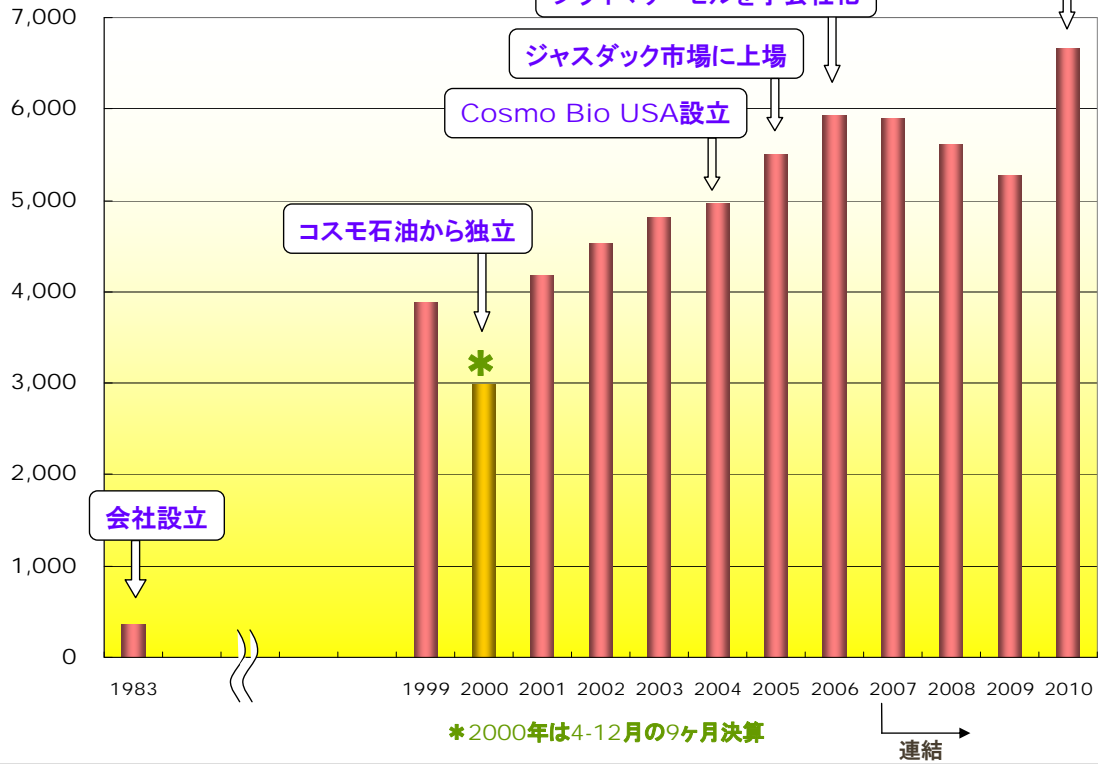


社名： コスモ・バイオ株式会社  
業種： 卸売業  
上場市場： 大阪証券取引所 ジャスダック スタANDARD  
証券コード： 3386  
本社所在地： 東京都江東区東陽二丁目2-20  
代表者： 代表取締役社長 笠松 敏明  
設立： 1983年8月25日  
事業内容： ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、  
臨床検査薬の輸出入および国内販売  
事業年度： 1月1日から12月31日まで  
従業員数： **連結：112名 個別：76名**  
連結子会社： 株式会社プライマリーセル  
**ビーエム機器株式会社**  
非連結子会社： Cosmo Bio USA, Inc.



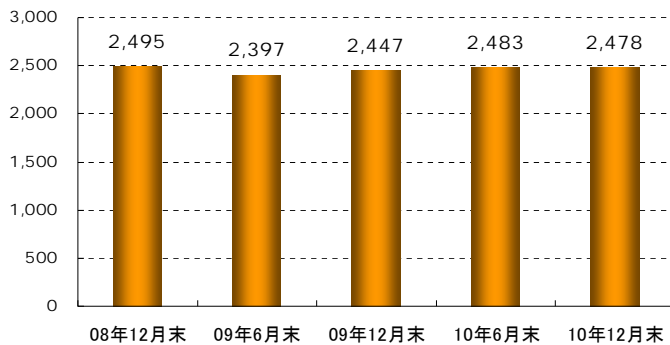
## 当社の歩み

売上高(百万円)



## 株式の状況

### 株主数の推移



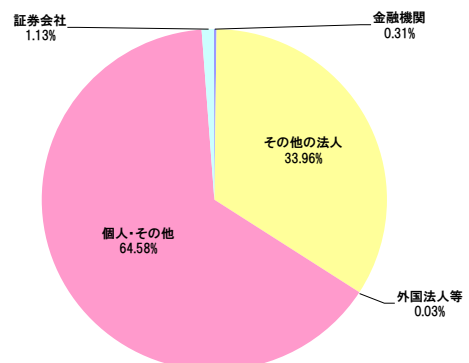
発行済株式数  
60,480株

株式の売買単位: 1株

### 大株主状況

株主名	持株数(株)	持株比率
東京中小企業投資育成株式会社	11,520	19.05%
コスモプロパティサービス株式会社	5,760	9.52%
コスモ・バイオ従業員持株会	4,742	7.84%
福井 朗	3,000	4.96%
株式会社ブルボン	2,783	4.60%
原田 正憲	2,200	3.64%

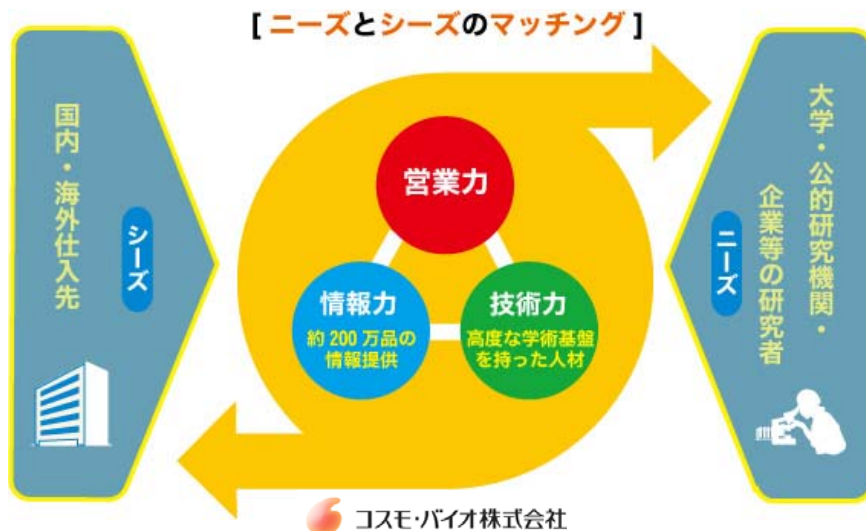
### 所有者別株式分布状況



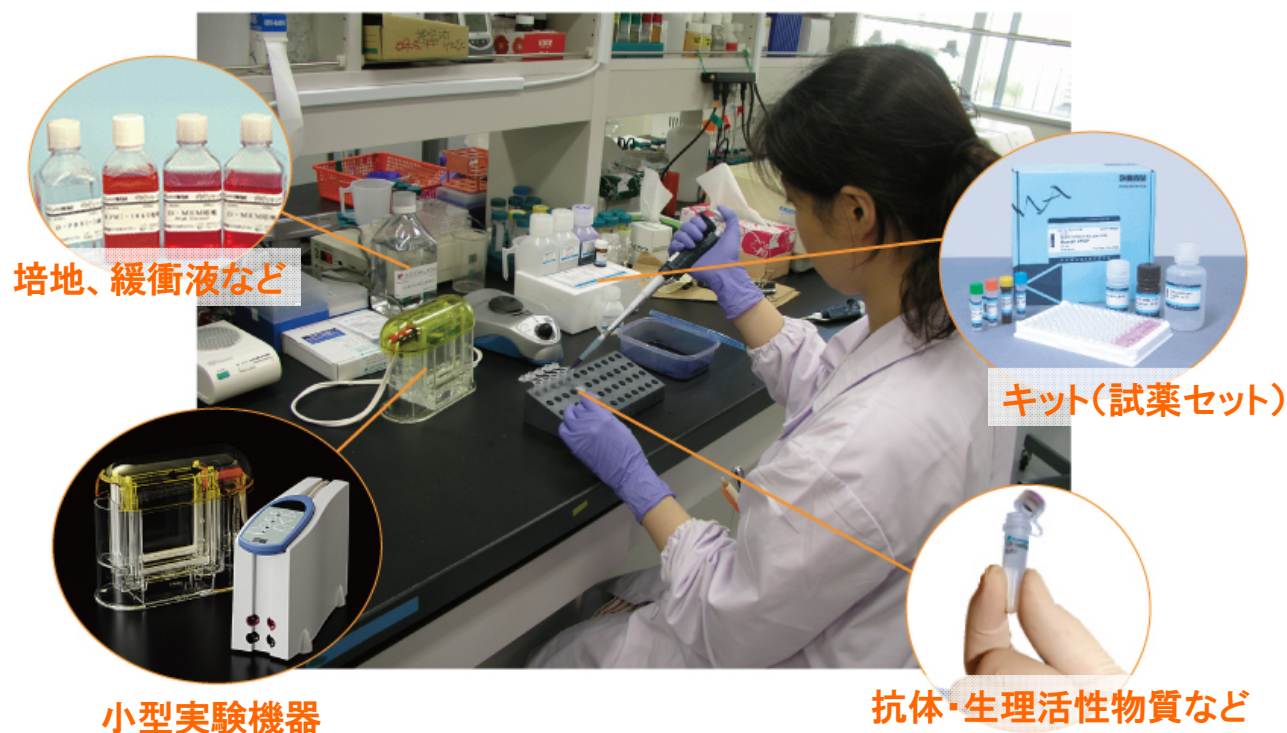
# ビジネスの特徴: バイオの専門商社

## 膨大な商品・情報と多様なユーザーニーズのマッチング

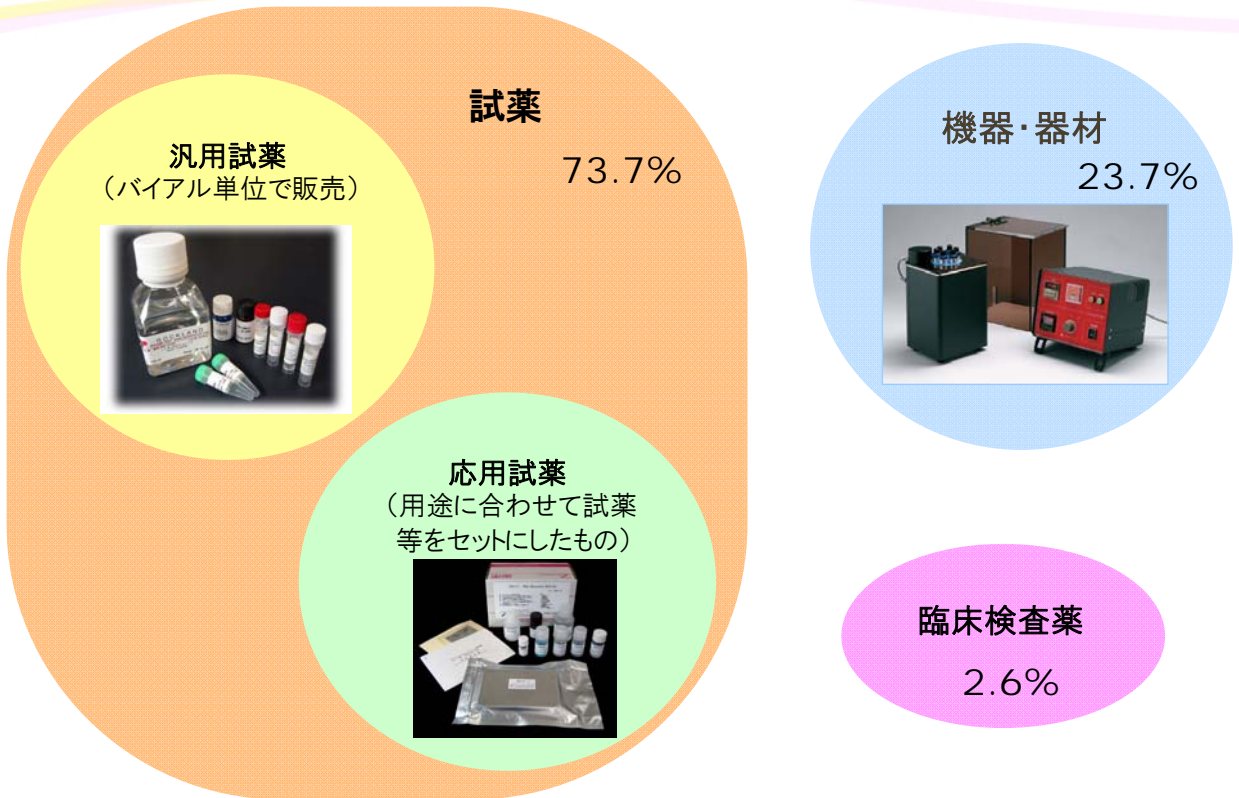
- ユーザーニーズに対応できる約200万品の豊富な商品
- 商品情報をデータベース化し、ユーザーが自在に検索可能
- 仕入先に代わり、各種プロモーションツールやデータベースにより専門性の高いサービス・情報を研究者へ提供



# コスモ・バイオグループの取り扱う商品(一例)



# 主な商品の分類と売上構成(連結)



## 2. 2010年12月期 決算の概要



## 2010年のハイライト

- ① ビーエム機器株式会社の発行済株式を約33%追加取得し、連結子会社化(合計約63%保有)
- ② RNAi分野を強化するため、株式会社B-Bridgeから事業を譲受
- ③ 2010年度は47社の新規仕入先と販売契約を締結、内7社と日本国内における独占販売契約\*を締結  
(\*細胞関連試薬、遺伝子工学用試薬、各種抗体、キット等)

4期ぶりの増収増益となりました

## 業績ハイライト(前年比)

**売上高 26%アップ**



ビーエム機器の連結子会社化  
(第2四半期より売上高に反映)  
補正予算の執行による売上高増加

**営業利益 54%アップ、 経常利益 43%アップ**



円高による仕入原価の減少  
売上高増加によるもの

**総資産 612百万円増額で6,170百万円**



ビーエム機器の連結によるもの

## 連結損益計算書(前年同期比)

(単位:百万円)

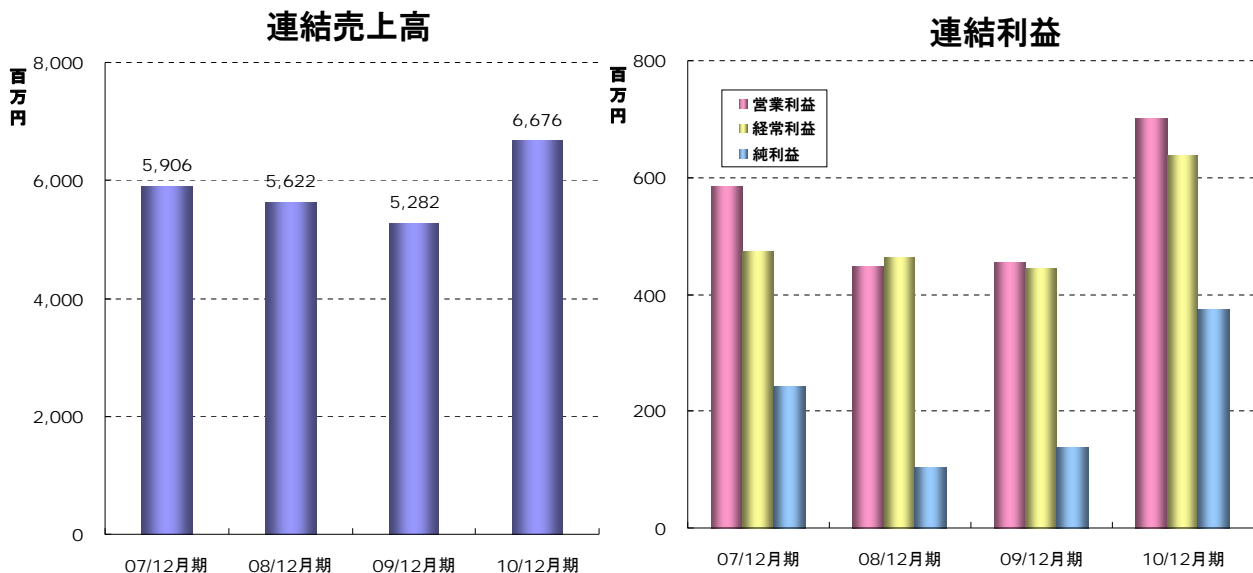
	2009年 12月期	2010年 12月期	増減額	前年 同期比
売上高	5,282	6,676	1,393	126% <sup>注1</sup>
売上総利益	2,164	2,849	685	132% <sup>注2</sup>
営業利益	456	701	244	154%
経常利益	445	635	190	143%
純利益	137	373	236	272%

**注1** ・ 第2四半期よりビーエム機器の売上を取り込み  
 ・ 第1四半期(1-3月)に大学等の2009年度補正予算の執行が集中

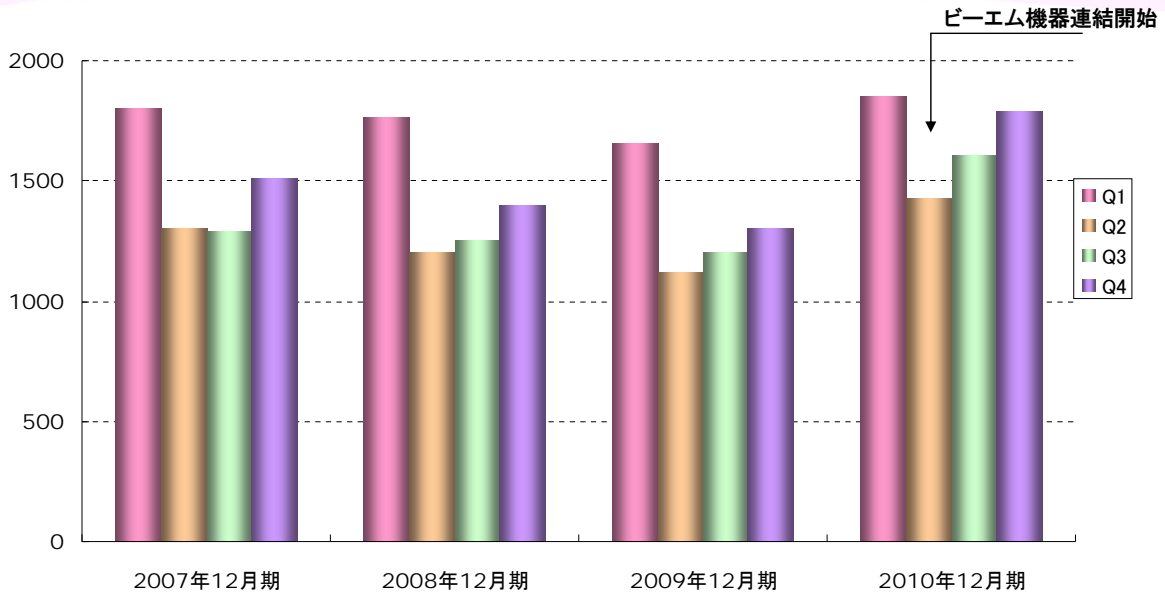
**注2** ・ 売上高の増加と円高による仕入原価率の低減  
 ・ ビーエム機器の連結化による増益

## 連結売上高／利益の推移

- 売上高60億円突破
- 4期ぶりの増収増益

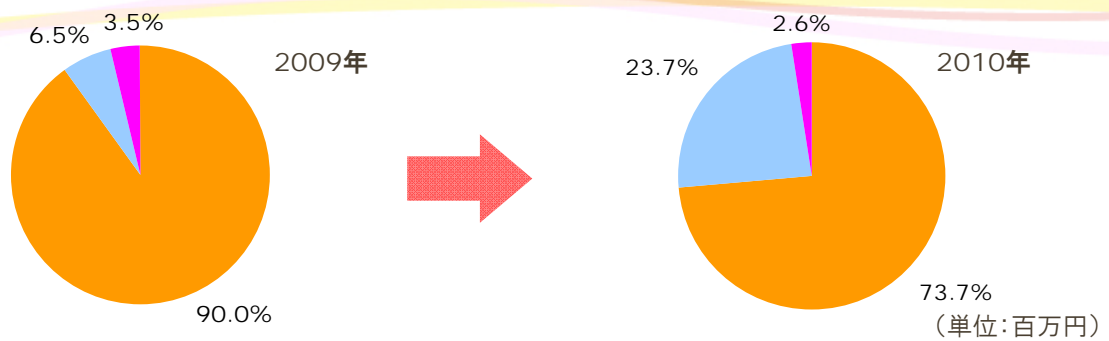


## 四半期別連結売上動向



第1四半期は大学等の予算執行が最も活発で売上が大きく、その後、新年度にあたる第2四半期に売上が落ち着くものの、第3から第4四半期に向けて売上が増加する傾向

## 商品分類別売上(連結)



	2009年 12月期		2010年 12月期		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
研究用試薬	4,754	90.0%	4,923	73.7%	169	3.6%
機器	343	6.5%	1,582	23.7%	1,238	360.2%
臨床検査薬	184	3.5%	170	2.6%	△14	△7.7%
合計	5,282	100.0%	6,676	100.0%	1,393	26.4%



## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2009年12月末	2010年12月末	増減額
総資産	5,557	6,170	612
流動資産	3,908	4,720	812 <sup>注1</sup>
固定資産	1,649	1,449	△199 <sup>注2</sup>
負債合計	1,237	1,113	△124 <sup>注3</sup>
純資産合計	4,319	5,057	737
株主資本	4,363	4,664	301
少数株主持分	—	435	435
<b>自己資本比率</b>	<b>77.7%</b>	<b>74.9%</b>	

**注1** 売上債権及び商品の増加

**注2** ・ 土地・建物等の有形固定資産の増加  
 ・ 関係会社株式の減少

**注3** ・ 未払い法人税の減少  
 ・ 役員退職慰労引当金の減少

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

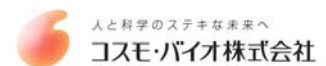
	2009年 12月期	2010年 12月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	657	202	△454 <sup>注</sup>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△383	△334	48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66	△93	△26
現金および現金同等物の増加額	205	△229	△435
現金および現金同等物の期末残高	1,411	1,181	△229

**注:** 法人税等の支払い  
 役員退職慰労金の支出

### 3. 2011年12月期 事業計画



#### 2011年12月期の連結業績見通し



(単位:百万円)

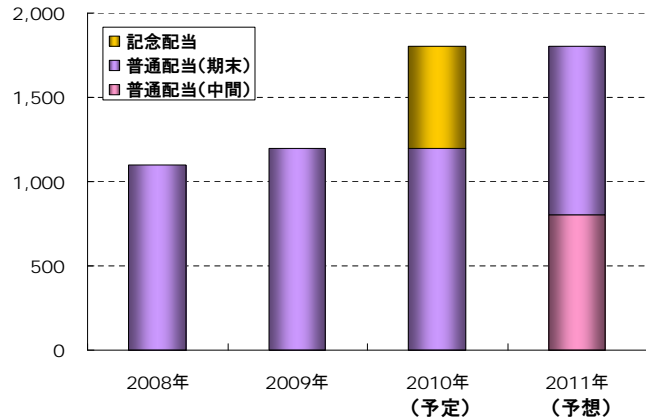
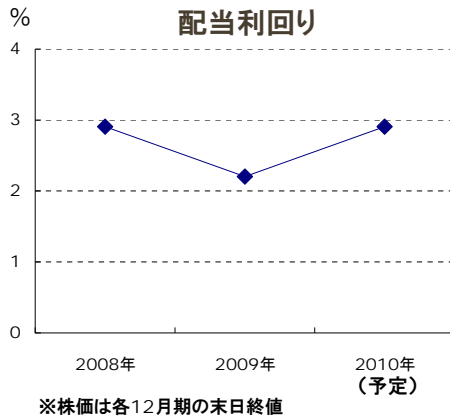
	09/12月期 実績	10/12月期 実績	11/12月期 予想	対前年比	
				増減額	増減率
売上高	5,282	6,676	7,529	853	13%
営業利益	456	701	765	64	9%
経常利益	445	635	783	147	23%
純利益	137	373	433	59	16%
売上高営業利益率	8.6%	10.5%	10.2%	—	—

平均為替レート	09/12月期	10/12月期	11/12月期 (予想)
円/USドル	94円	87円	90円

**2期連続の増収増益を予想しています**

## 配当について

	1株当たり配当金		合計
	中間	期末	
2011年12月期 (予想)	800円	1,000円	1,800円
2010年12月期 (予定)	0円	1,800円 (うち普通配当 1,200円) (うち記念配当 600円)	1,800円
2009年12月期	0円	1,200円	1,200円



## バイオ研究用試薬の市場動向

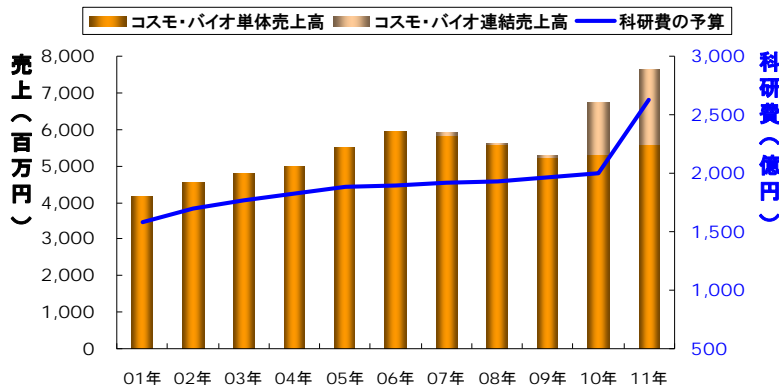
### 市場動向

- 近年は科学技術に対する政府の研究予算が抑えられる傾向にあり、大学・公的研究機関の研究予算伸び率は小さいと想定される。
- 製薬企業等の研究予算は相変わらず高い比率を保持し、当社売上は堅調。

### 注目市場

- iPS細胞による再生医療分野研究には政府も支援に注力しており、またRNAなどの遺伝子工学分野も今後益々盛んに。日本の研究市場の活性化が期待される。

### バイオ研究予算と当社の売上



※科学研究費補助金(科研費)のデータは日本学術振興会ホームページより  
※2000年-2006年は当社単体売上

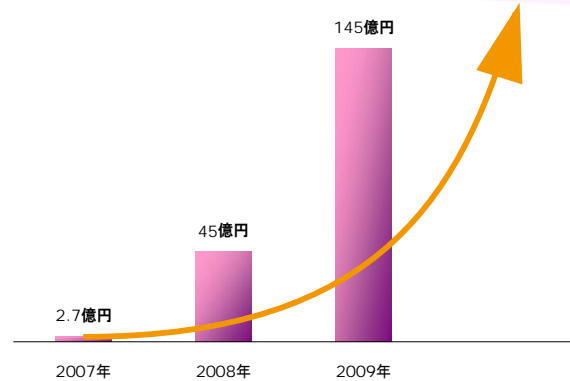
生化学(バイオ)研究用  
試薬市場規模  
858.3億円(2009年度)

(矢野経済研究所推定)  
※機器、一般試薬は除く

## 注目研究

### iPS細胞

- すべての臓器・器官に分化しうる細胞で、皮膚などの体細胞から作製が可能。
- 京都大学 山中教授 により樹立され、世界で初めて論文報告(2007年)。
- iPS細胞を使った**再生医療研究**や**生命の仕組みの解明**、**疾患研究**、**創薬**など基礎研究から産業応用まで幅広い活躍が期待される。



iPS細胞研究に関する政府予算(文部科学省)の推移  
(補正予算を含む)

※文部科学省ホームページより引用

### RNA研究

- 小サイズのRNAを細胞内に取り込むことで、本来の遺伝子機能を抑制することができる(RNA干渉)実験手法。
- 調べたい遺伝子の配列がわかれば、それに対応するRNAを細胞内に取り込んで遺伝子を抑制させることで、その機能を調べたり、病気の原因となる遺伝子を抑え込んだりする研究が行われている。

## 2011年からの取り組み

### 活力ある成長企業を目指す

#### ビジョン

- 第一に選ばれる研究開発支援の会社
- 世界のライフサイエンス研究に貢献
- 多角的な事業基盤の強化

#### <取り組み>

- |   |   |
|---|---|
| <p>1. 事業規模の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 売上アップ・シェアアップ</li> <li>● 有望分野への集中</li> <li>● 海外展開の推進</li> </ul>             | <p>3. ビジネスの多角化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 周辺の新規ビジネスの探索</li> <li>● 仕入先と連携したビジネス展開</li> </ul> |
| <p>2. コーポレートブランドの高揚</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ライフサイエンス研究支援で最も信頼される企業</li> <li>● 誇れる会社</li> <li>● 自社品の充実</li> </ul> | <p>4. 経営の効率化・合理化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● グループ内の業務効率化</li> <li>— 仕入、販売、物流 —</li> </ul>    |

# 1. 事業規模の拡大(売上アップ・シェアアップ)

- 商品開発・管理  
効果的な商品導入  
仕入先との強調戦略

顧客ニーズを知る

商品情報の整備

- 顧客目線に立った情報・物流サービスの提供  
「コスモ・バイオニュース」の発行  
各種カタログの発行  
WEBでの最新商品情報の提供

ホームページ・  
カタログの  
充実

- 子会社と連携した取り組み
- 提案型営業の推進



# 1. 事業規模の拡大(有望分野への集中)

## ① 細胞関連分野の強化

### 共同研究開発

- 大学との長期共同開発に着手
- 細胞輸送容器の開発
- 各種培地の開発・販売開始予定

コスモ・バイオ

連携

プライマリーセル

大学・企業等の研究機関

### ヒト初代細胞

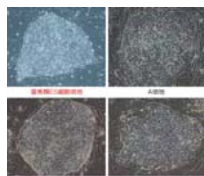
- ヒト初代細胞を用いたさまざまな受託解析サービスを展開

### セルベースアッセイ

- 実験動物を使わずに、細胞を培養して薬物効果測定  
さまざまなキットを取り揃え販売

### iPS細胞研究支援

- リプロセル社 iPS細胞用培地や各種試薬、また iPS細胞用遺伝子導入試薬などを取り揃え販売



### その他培養試薬

- 各種細胞にあわせた無血清培地の開発や商品ラインアップの充実





# 1. 事業規模の拡大(有望分野への集中)

## ② RNA関連分野、創薬支援分野の強化

### 《RNA関連分野》

- 前期に譲受したRNAi関連試薬事業を核に、当社RNAi事業の認知度向上を図る
- 新しい受託試験サービスを開始
- 品揃えを充実し、自社ブランド品も開発



カタログ・チラシ類の充実



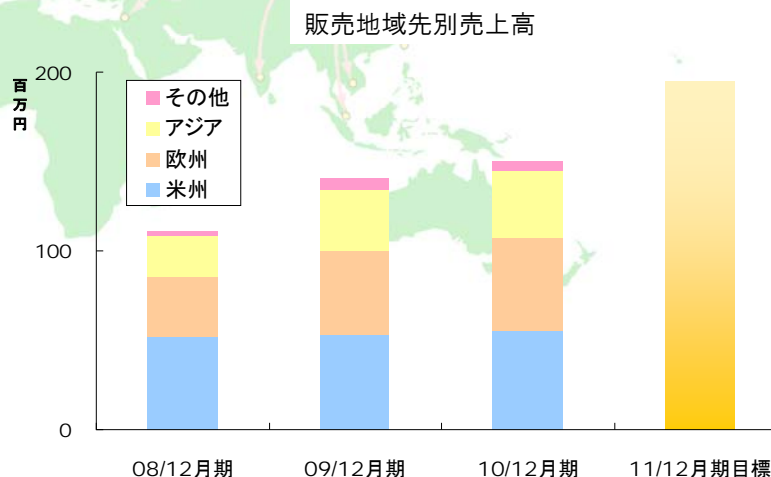
### 《創薬支援分野》

- 提案型営業による研究者へのアプローチ
- 仕入先との緊密な連携による顧客サポート

# 1. 事業規模の拡大

## ③ 海外展開の推進

- アジア・ヨーロッパの販売代理店網を強化  
(2010年12月時点で13社 → 2011年は、既存代理店との関係強化および新規代理店の起用により代理店網を拡充する)
- 効果的な販売促進活動  
Cosmo Bio USAと連携した売上拡大  
Web、Eメール等を活用した効果的なプロモーション活動



細胞染色用蛍光色素 POLARIC™



## 2.コーポレートブランドの高揚

ライフサイエンス研究のサポートで最も**信頼**される企業を目指す  
～第一に選んでいただける会社～

### <商品力>

- 日々進歩する研究の動向をつかみ、常に先端商品を導入
- 新商品をいち早く紹介

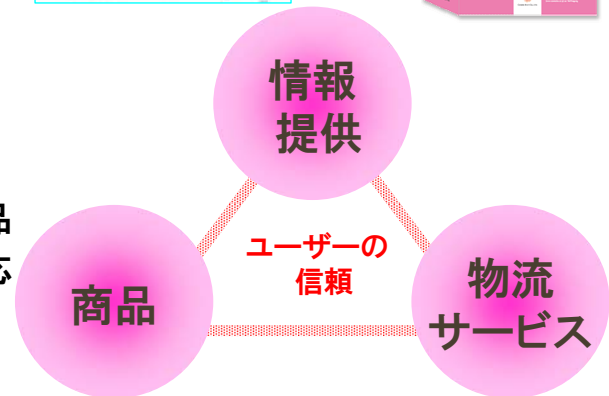


### <情報提供力>

- きめ細やかな商品・技術情報提供

### <物流サービス>

- 適切な在庫管理と迅速・確実な納品
- ユーザー・代理店への責任ある対応



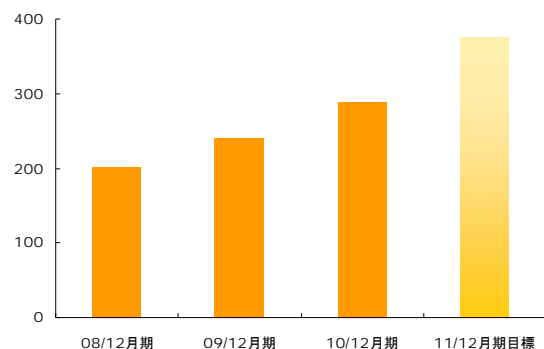
## 2.コーポレートブランドの高揚(自社品の充実)

- 高品質自社ブランド商品の充実
  - 2010年は、特にCACブランド(Cosmobio Antibody Collection)、MIRブランド(RNAi試薬)で、高品質試薬の商品を充実
  - グループ会社・関連会社間での自社商品の共同開発

今後も販売品目を増やし、自社ブランドを充実させていく方針です



自社ブランド商品売上推移(単体)



## 2.コーポレートブランドの高揚(社会貢献)

- 2004年度から大学等の公開講座に協賛する『公開講座応援団』を実施  
2010年度は、下記10件の公開講座に協賛  
2011年度も引き続き実施予定(3月中旬頃募集開始)

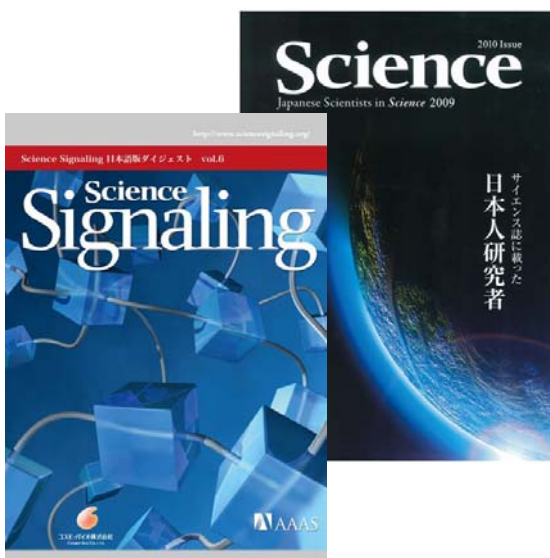
団体名	対象	講座名
愛知県 がんセンター研究所 公開講座実行委員会	高校生	高校生のための実験・体験コース —ホテルの光でがん細胞を追いかけろ—
秋田県立秋田南高等学校	小中高生	博士号教員と一緒にバイオ実験を体験してみよう! -1日科学者体験講座
宇都宮大学	中高生	バイオテクノロジーを通じた生命と食の学び講座
沼津工業高等専門学校	小学生 保護者	門池環境調査隊! 2010
帯広畜産大学	高校生	食品中のアレルゲンを評価する-PCR法-
高知工業高等専門学校	小中生	キャンパスアドベンチャー2010
東京工業大学 生命理工学部	高校生	第19回高校生のための夏休み特別講習会
福岡教育大学	小中生	植物バイオの世界
岡山大学	高校生 教員	農学部で学ぶ生命科学実験講座
熊本大学 生命資源研究・支援センター	中高生 大学生 社会人	遺伝子と仲良くなろう!



公開講座の様子

## 2.コーポレートブランドの高揚(社会貢献)

- 当社ウェブサイトで『Science Signaling』の日本語版サイトの運営
- 『Science Signaling』日本語版要旨集を年4回発行
- 毎年「サイエンス誌に載った日本人研究者」という、研究と人柄を紹介する冊子を制作・配布



日本語版サイト

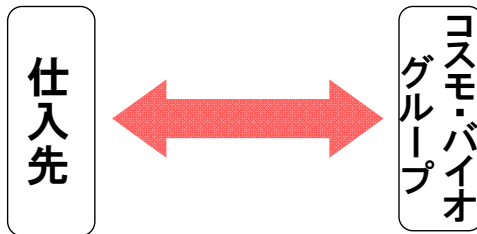
### 3. ビジネスの多角化

— これまで培ってきたノウハウを生かした新規ビジネスの  
創出や多角的なビジネス展開を目指す —

- 周辺の新規ビジネスの探索



- 仕入先と連携したビジネス展開

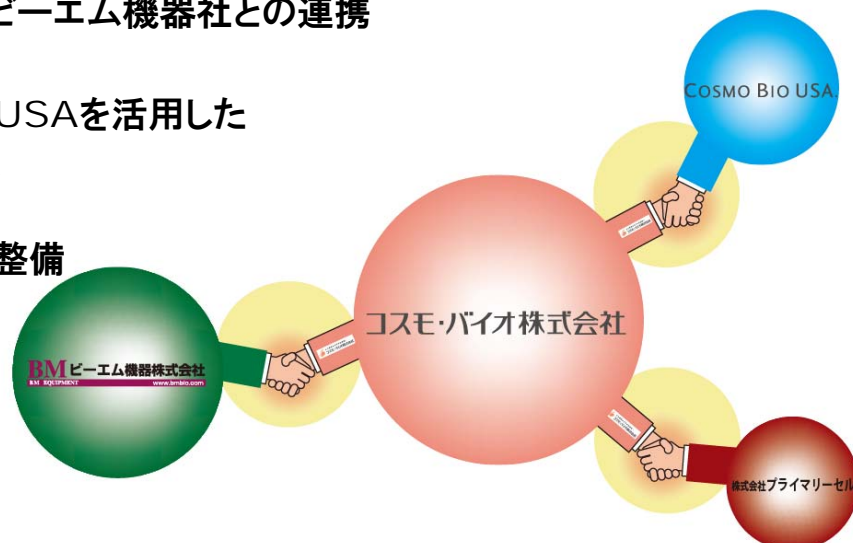


### 4. 経営の効率化・合理化

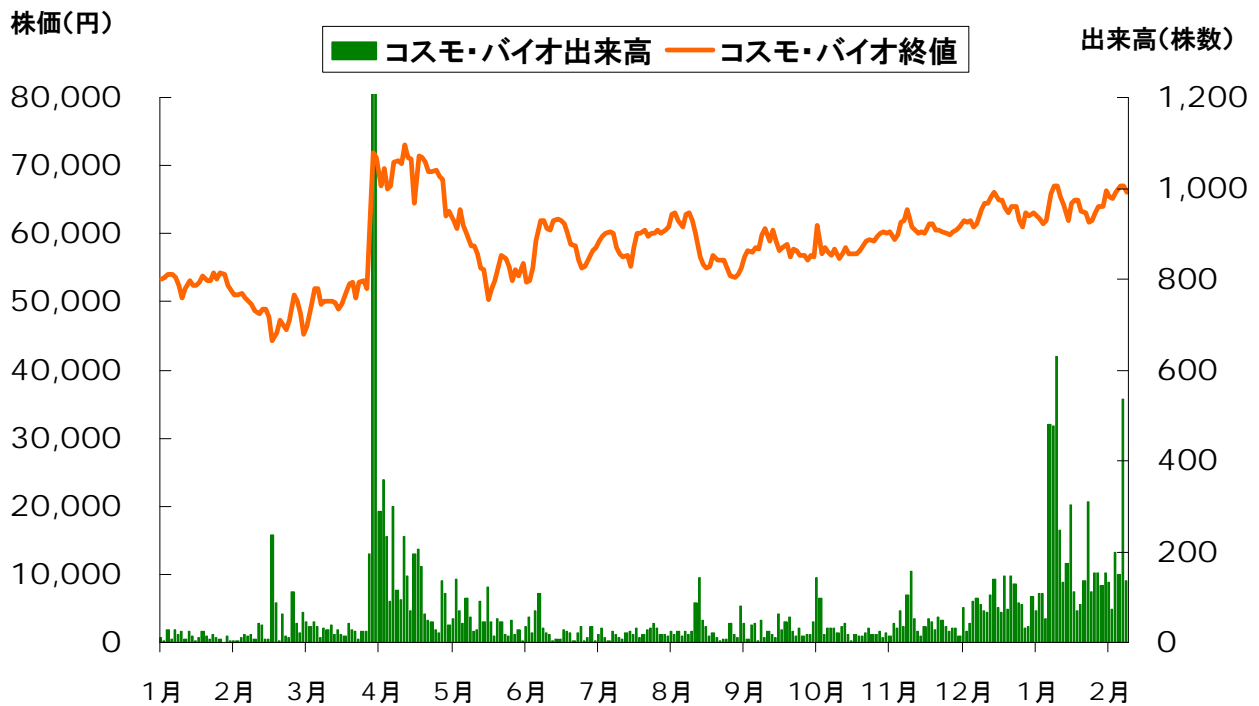
- グループ会社の業務・機能を統合・整理
  - 細胞関連事業・・・プライマリーセル社との連携
  - 機器販売・・・ビーエム機器社との連携

- COSMO BIO USAを活用した  
海外展開の加速

- 物流システムの整備



## 株価推移(10/1/1~11/2/16)



## ご注意

- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社株式への投資勧誘を目的としておりません。

《IRに関するお問い合わせ先》  
コスモ・バイオ株式会社 経営企画室  
ir-contact@cosmobio.co.jp

当社IRサイト  
<http://www.cosmobio.co.jp/ir>